

# 住生活に関するアンケート調査結果

住宅課

## 1 調査の目的

県では、昨今の社会情勢等を踏まえ、住生活の安定の確保及び向上に向けて取り組むべき施策や目標を盛り込んだ岐阜県住生活基本計画の見直しを進めています。

そこで、県民の皆さんの住生活に関する意識や現状を把握し、今後の住宅施策の基礎資料とさせていただくために、ご意見ご意向などを伺いました。

## 2 調査対象など

調査対象：県政モニター679人（うちインターネットモニター389人）

調査方法：郵送及びインターネット

調査期間：平成28年6月17日～7月8日

回収結果：646人（回収率：95.1%）

その他：構成比はパーセントで表し、小数点第2位以下を四捨五入して算出しています。そのため、合計が100パーセントにならない場合があります。

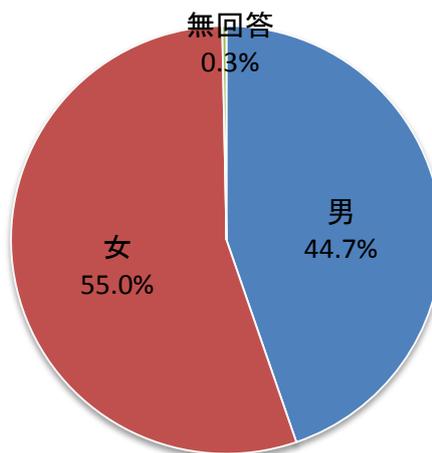
## 3 結果概要

- 現在、居住している住宅は一戸建ての持家住宅が最も多く（84.8%）、今後も住み続けたい又はリフォームして住み続けたいと考えている方は78.7%であった。また、住み替えを考えている方の将来希望する住宅は、一戸建ての持家住宅を望む方が最も多かった。（80.5%）
- 理想の住まいを実現するために、住宅において重要視するものは、「地震や台風などに強いこと（67.5%）」、「長く使用できること（53.2%）」、「通勤・通学・買い物・病院等に便利な場所に立地していること（46.3%）」、「世帯人数に適した広さの住宅であること（40.9%）」を挙げる方が多かった。
- リフォームを実施する際に不安に思うことは、「見積もりの相場や適正価格がわからない（61.0%）」、「費用がかかる（46.7%）」、「減税措置や補助制度など、どのような支援制度があるのかわからない（29.7%）」などリフォーム費用に係る不安を挙げる方が多かった。
- 中古住宅を購入又は借りるとした場合に気になることは、「建物の耐久性・耐震性（73.2%）」、「建物の設備（66.2%）」、「建物に隠れた瑕疵の有無（45.9%）」など住宅の構造・設備に係る点を挙げる方が多かった。
- 今後県が住宅施策を進めるうえで、特に力を入れてもらいたいと思うことは、「災害に強い住まいの支援（61.7%）」が最も多く、次いで「高齢者等が安心して暮らすことができる住まいの支援（41.9%）」、「空き家等対策（35.4%）」、「省エネ住宅の普及促進（31.4%）」との結果になった。

#### 4. 回答者の属性等

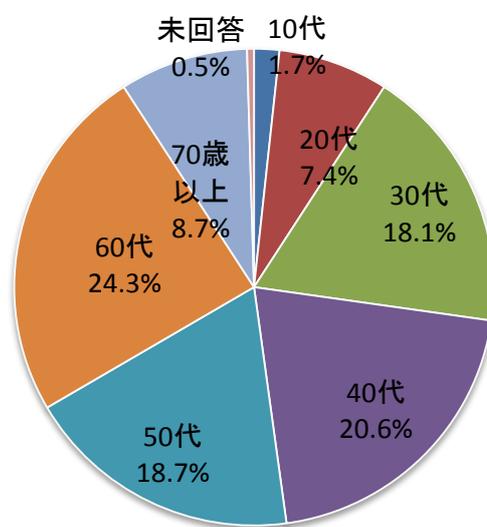
##### (1) 性別

	人数	割合
男性	289人	44.7%
女性	355人	55.0%
無回答	2人	0.3%
合計	646人	100.0%



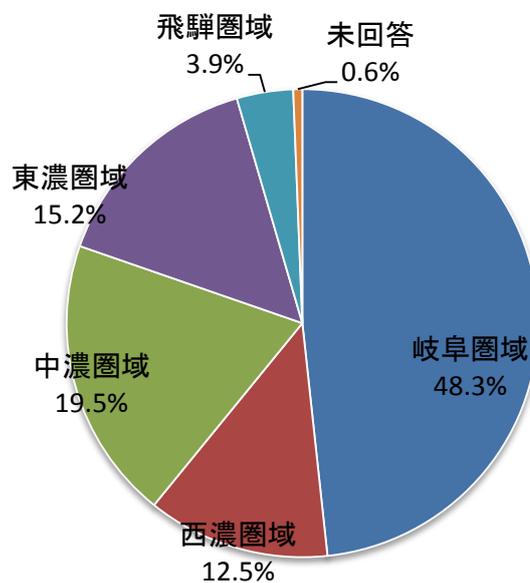
##### (2) 年齢

	人数	割合
10代	11人	1.7%
20代	48人	7.4%
30代	117人	18.1%
40代	133人	20.6%
50代	121人	18.7%
60代	157人	24.3%
70歳以上	56人	8.7%
無回答	3人	0.5%
合計	646人	100.0%



##### (3) 居住圏域

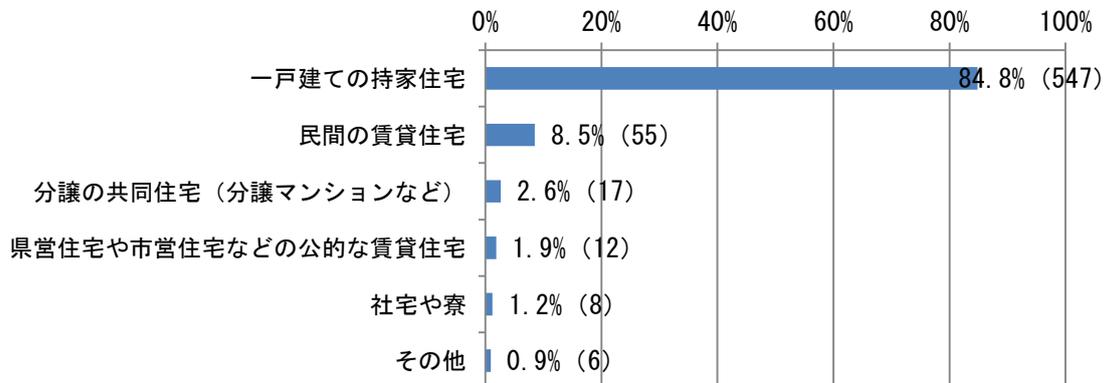
	人数	割合
岐阜圏域	312人	48.3%
西濃圏域	81人	12.5%
中濃圏域	126人	19.5%
東濃圏域	98人	15.2%
飛騨圏域	25人	3.9%
無回答	4人	0.6%
合計	646人	100.0%



## 5. 調査結果

問1 あなたが現在お住まいの住宅は、次のうちどれにあてはまりますか。

(回答数 645人)

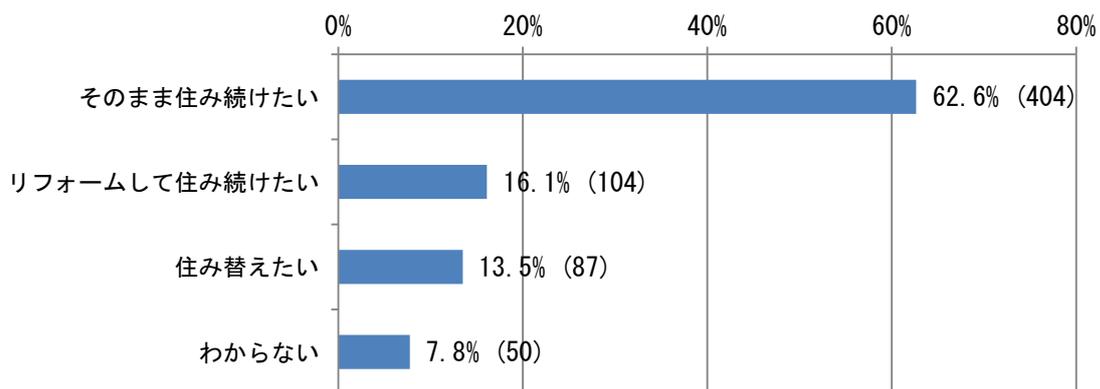


【その他の意見】（主なもの）

- ・ 軽費老人ホーム

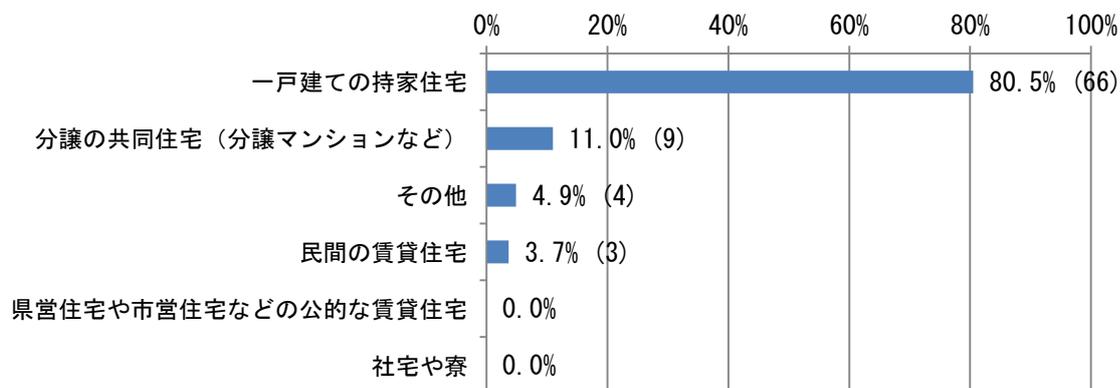
問2 あなたは今後も現在のお住まいに住み続けたいと思いますか。

(回答数 645人)



問3 （問2で「住み替えたい」と答えた方）あなたが将来的に住みたいと思う住宅（理想の住宅）は、次のうちどれにあてはまりますか。

(回答数 82人)



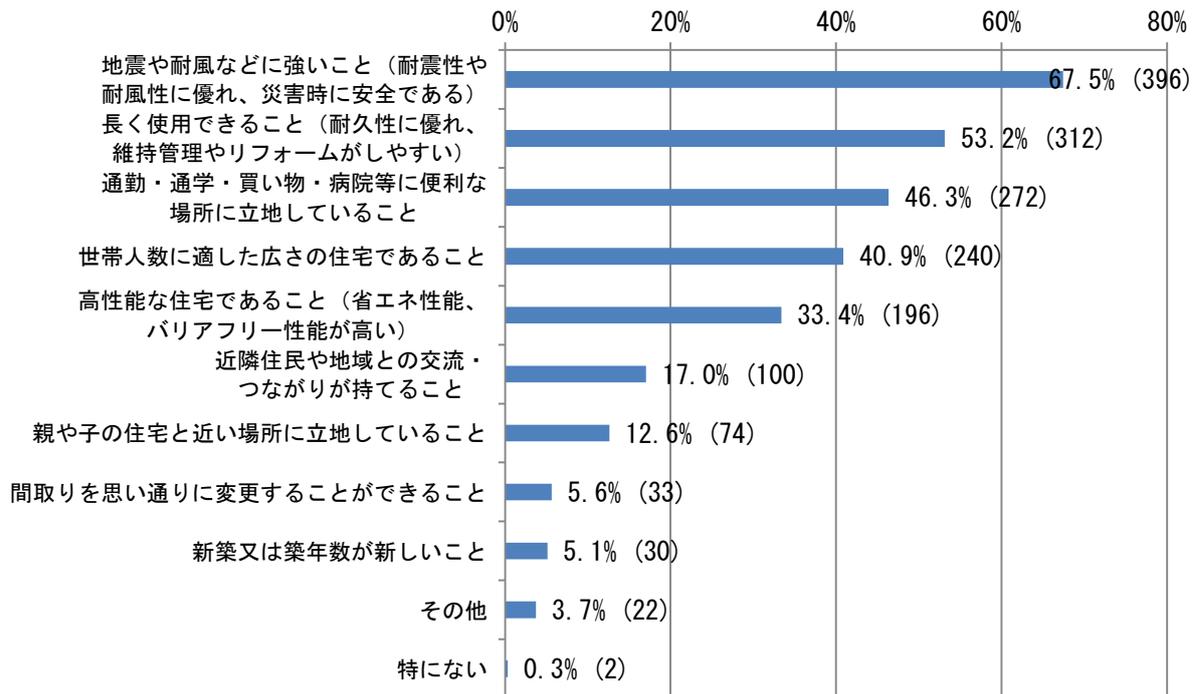
【その他の意見】（主なもの）

- ・ 平屋

問4 あなたが理想の住まいを実現するために、住宅において重要視するものは何ですか。

【複数回答】

(回答数 587人 1,677件)

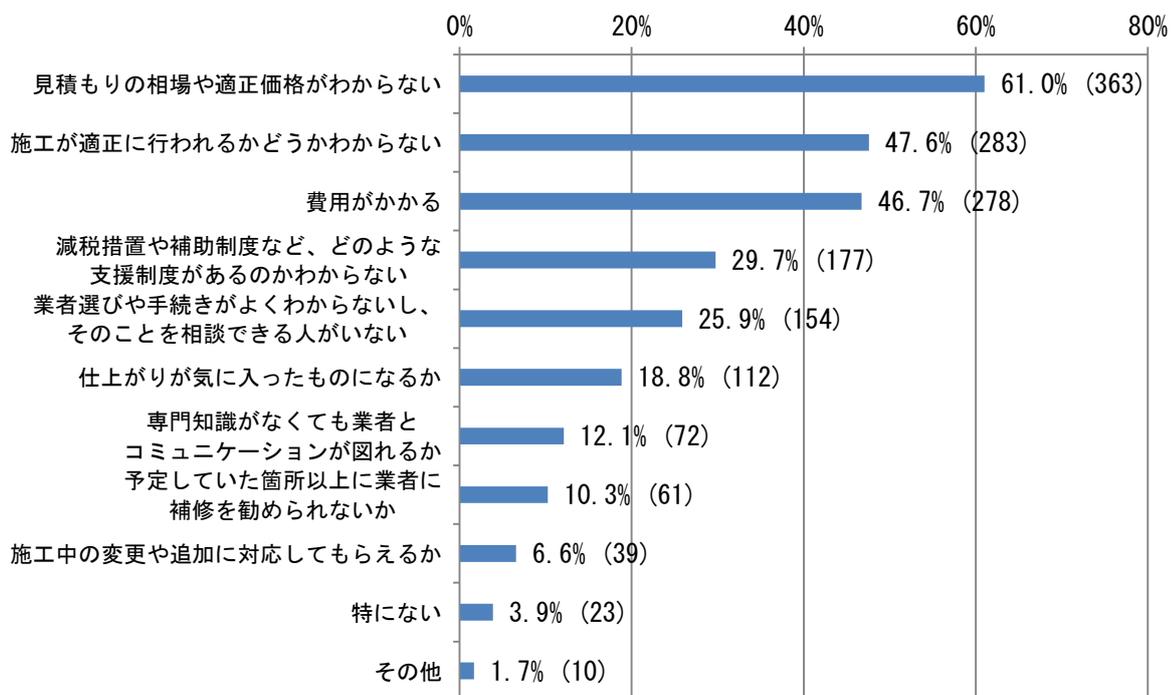


【その他の意見】（主なもの）

- ・ 周辺環境が良いこと

問5 あなたが仮に、リフォームを実施する際に不安に思うことはありますか。（既にリフォーム実施済みの方はどのような点が不安だったかお答えください。）【複数回答】

(回答数 595人 1,572件)

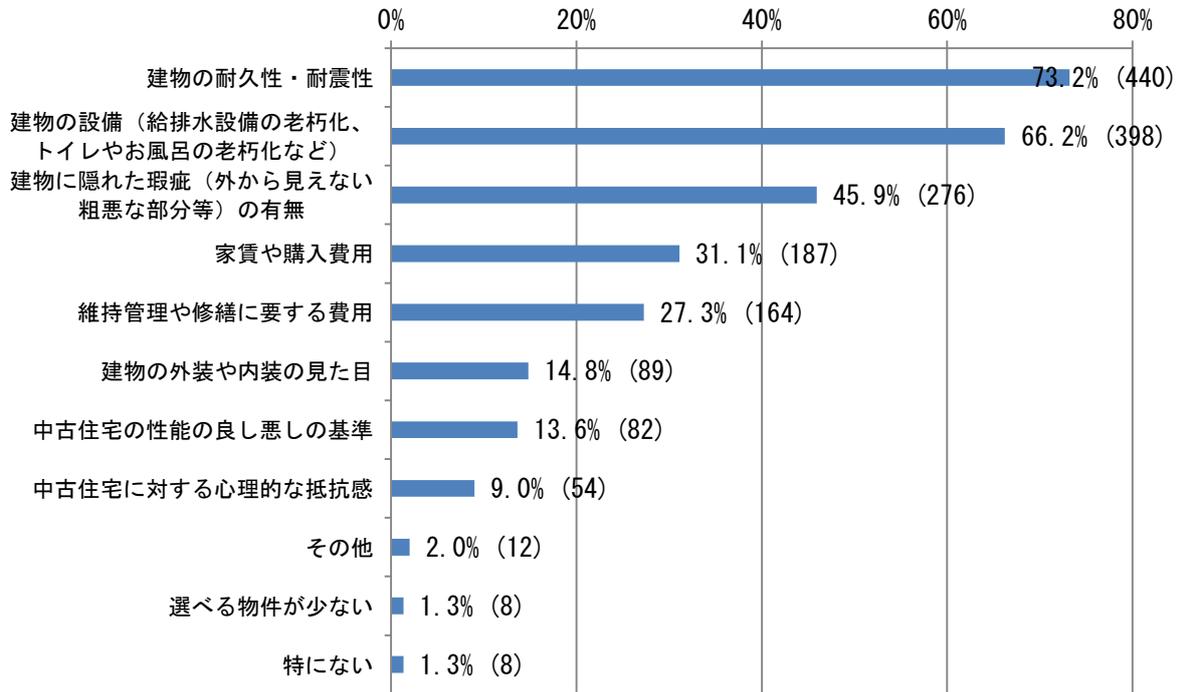


【その他の意見】（主なもの）

- ・ リフォーム後のメンテナンス
- ・ 施工時のトラブルに対応してもらえるか

問6 あなたが仮に、中古住宅を購入または借りるとした場合に、気になることは何ですか。【複数回答】

(回答数 601人 1,718件)

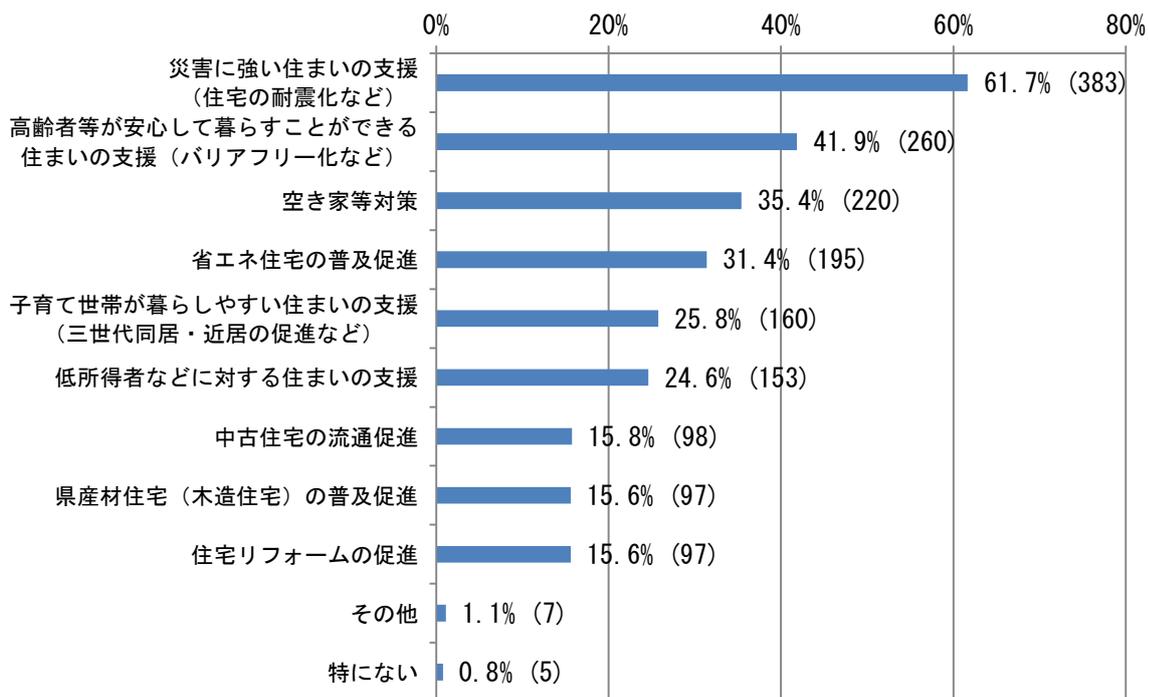


【その他の意見】（主なもの）

- ・販売されている理由
- ・近隣の状況（治安、利便性など）

問7 今後県が住宅施策を進めるうえで、あなたが特に力を入れてもらいたいと思うことは何ですか。【複数回答】

(回答数 621人 1,675人)



【その他の意見】（主なもの）

- ・移住者支援

**問 8 県の住宅施策について、ご意見やご要望がございましたら自由にご記入ください。**

ご記入いただいた主なご意見は以下のとおりです。

**【空き家】**

- ・状態が良い空き家が目立つため、これらの有効活用に力を入れてほしい。
- ・若い世代や県外からの移住者など必要とする方のために、空き家をリニューアルして安く提供できたらよい。
- ・どんどん空き家が増えている。空き家が増えると治安が悪くなるなどいいことはない。空き家対策を強化してほしい。
- ・各市町村と連携・協力をした空き家対策を展開してほしい。

**【災害対策】**

- ・住宅の耐震化など災害に強い住まいの支援に積極的に取り組んでほしい。また、補助があるなら周知してほしい。
- ・災害時に安全であることが何よりも重要である。

**【県産材の利用】**

- ・住宅に限らず学校などの公共施設の内装等にも県産材をもっと使ったらどうか。
- ・県産材の利用が十分行われていない。岐阜は木の国山の国であり、もっと県産材の利用促進のPRを。

**【中古住宅流通】**

- ・中古住宅の流通に力を入れてほしい。
- ・過疎化はますます進む。空き家をどんどんPRして、中古市場を活性化させることが大切である。

**【リフォーム支援】**

- ・既存住宅のリフォームの支援を充実させてほしい。
- ・リフォームを考えているが、信用できる事業者を探すのが大変である。

**【子育て世帯への支援】**

- ・若い人たちの県外流出を防ぐために、子育て世帯が暮らしやすい住まいの支援に力を入れてほしい。

**【住環境】**

- ・住宅だけでなく、まわりの環境も含めて対策していかないと若い人が移り住むことはない。

**【県の住宅政策】**

- ・家を建てたり、リフォームする際に県が何をしてくれるか分からない。県の助成制度や住宅政策を知らない人は多くいると思われるので、もっと県民に分かりやすくPRしてほしい。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。  
皆様のご意見は、今後の行政施策の参考とさせていただきます。